

和合

No.106
2015. 9. 20

題字：三浦修次



“けが人救助”

宿泊防災訓練のひとつ
[ジュニカレ和合塾③]

主な掲載記事

おらほの民俗行事……………2	畑からこんにちは……………4
おっきぐなたの〜……………2・3	亀治からのメッセージ……………5
和合ってどんなところ……………3	よつばっこ通信……………6
夏のツケを残さない	こうなってほしちゃ……………6
生活をしましろう！……………4	健康レシピ……………7
	和合交番……………7
	地域インフォメーション……………8

おらほの 民俗行事

[No.3] 古関編

「御神子舞」

長谷部 富夫 氏

お祭は、村民が心を一つに出来る重要な神事。故伊藤秀光宮司が村祭を一層盛り上げたいと10代の頃に見た「御神子(みかんこ)舞」を我が古関でもやりたい!と願えど叶わず、希望を捨てず年月を経たそんな折、村民から厄払いの寄付の申し出があり、舞扇4組が決まりました。

それから75年、小中学生に受け継がれて8月15日に奉納されてきました。歴史はまだ始まった

ばかりですが、お祭で女の子達が受け持つ御神子舞は、優雅で村人の心を和ませてくれます。

そんな女の子達がやがて村を離れ思い出すのは、お祭で御神子を舞ったことだそうです。練習で夏休み返上の苦勞、本番でのアイドル気分は心に深く刻まれているようです。我々大人達が手伝えることは、思い出つくりと

御神子舞の伝承に係る手助けです。

これからも古関に生まれ育った女の子が、白山神社に「御神子舞(浦安の舞)」を末永く奉納してくれることを願っています。



おっきぐななの～

- ①美しい音を奏でて、人を引きつける魅力を持ち、心の優しい人になってほしいと願いを込めて。
- ②DVDやCDの音楽に合わせて踊ること。
- ③甥っ子の赤ちゃんを見て、頭をなでなでしたり、ほっぺをツンツンしてあやしていた。
- ④携帯電話を触っていて、知人に電話をかけてしまったことにビックリ!
- ⑤病気に負けない身体を作るように、いっぱいご飯を食べ、大きく成長してほしい。

パパ・ママに
インタビュー

- ① 名前の由来は?
- ② 今一番の興味や、はまっている遊びは?
- ③ 最近のエピソードは?
- ④ パパママの失敗談(子育てあるある!)
- ⑤ パパママからのメッセージ

富樫 ^{みのん} 美音ちゃん

(沢新田)

平成26年3月24日生まれ

パパ: 尚志 / ママ: 五月

お詫びと訂正
105号(7/20発行)でお名前のふりがなに誤りがありましたことをお詫びいたします。
訂正した記事を再掲載しております。



和合ってどんなところ



余目第四小学校前校長

しげたか
菅原 茂隆 先生

も笑顔で、献身的に活動される姿が浮かんできます。そして人としての温かさも……。だから「和合ってどんなところ」と問われたら「温もりに溢れ、伝統や風習を大切にしているところ」と答えた。

暑い夏が終わろうとしています。余目四小を離れ、早くも6ヶ月が経とうとしています。和合地区の皆様は変わりなく、お過ごしのことでしょうか？8月下旬楯岡では、「むらやま徳内まつり」が行われ、多くの見物人で賑わいました。私も祭りを支えるスタッフの一員として、これまでにない経験をさせてもらいました。

ところで私事ですが、お世話になった2年間で、庄内町と村山市を約100往復しました。はじめは、国道13号線を南進し、楯岡の夜景が見えると「帰ってきた」と

思ったものですが、いつの頃からか国道47号線の立谷沢川を越えて清川に入ると「帰ってきた」と思うようになっていました。不思議ですね。きっと心が満たされていたからだと思います。明るく元気な子どもたち、何事にも一生懸命な先生方、そして温かく子どもたちを見守り、学校への協力を惜しまない和合地区の皆様（保護者の皆様を含めて）に包まれていたからだと思います。

今、地区の皆様と一緒に取り組んだ出来事を思い出すと、その時々でお世話になった方々がいつ

①樹木のように太くまっすぐに目標を持って成長していけるようにという願いをこめた。

②ベットやイスなど少し高い所に登るのが楽しい。

③お姉ちゃんが卓球の素振りをしているのを見て、自分もオーオー!!と声を出して応援していた。

④パパママのベットによじ登って、登れてうれしくてはしゃぎ、落ちる…何度もある。

⑤家族みんなを笑顔にしてくれる樹里ちゃん。元気で笑顔いっぱい女の子になってね。

①思いやりと優しさを持ち、周りから信頼され、愛される存在になって欲しいと思い込めて。

②カーテンや壁の横から“いないいないばあ！”

③お姉ちゃんとケンカして泣いた後に、2人でじゃれ合って大笑いしている姿に癒されます。

④食べ物を“んまんま”と教えたところ、店に並び食材を見て「んまんま！」と元気に指をさしています。

⑤いっぱい食べて、いっぱい遊んですくすく元気に成長してね。かわいい笑顔をいっぱい見せてね。



じゅり
加藤 樹里ちゃん

(主殿新田)

平成26年7月16日生まれ

パパ：伸幸 / ママ：彩

あつと
成田 篤人くん

(吉方)

平成26年5月24日生まれ

パパ：智之 / ママ：麗香

夏のツケを残さない生活をしましょう！

夏の疲労は慢性化しやすいので、疲れを感じたら上手にストレスを解消し、生活リズムを整えましょう。夏の終わりの生活ポイントをご紹介します。

①入浴で足を温める

入浴で足をよく温め、リラックスした気持ちで、ふくらはぎや足首をマッサージしてみましょう。寝つきも良くなります。

②胃腸を軽く、温かく

胃腸が冷えて重たいと、慢性疲労の原因になります。暑くても冷たい飲み物やそうめんなどの食べすぎには注意し、温かいものを食べましょう。

③酸化予防

夏の紫外線により、肌が傷ついたり、活性酸素が発生してシミの原因になったりします。緑黄色野菜など、抗酸化成分の多い食品を食べましょう。シミ予防の栄養素といえばビタミンCですが、消耗されやすい性質があるので、その働きを助ける酢やポリフェノールを一緒に摂りましょう。



高齢者総合相談窓口（介護相談・心配事などお気軽にご相談ください）

● 庄内町地域包括支援センター
TEL 45-1030（介護センターほほえみ内）

● 庄内町地域包括立川サブセンター
TEL 51-2505（庄内町役場立川庁舎内）

畑からこんにちは

雲の隙間から青空が覗くもの、時折大粒の雨が降るこの日、きくみさんは夏の暑さで成長が良くなかったというレタスの蒔き直しをしていました。

40代で姑さんから受け継いで畑仕事をするようになって50数年、94才の今も毎日のように畑に足を運んでいます。「好きでなければできないこと。植えっぱなしでなく、日照りが続けば喉が渴いているだろうと水やりをして



虫がつけば痒いだろうと虫拾いをして、愛情をかけて育てている。手をかけた分成長がみられる。畑が好きで仕事が楽しいから来ないではいけない。」と話していました。

テンポよく畝に土を足す鋤さばきを見て、元気の秘訣を質問すると「特別な事は何もしていない」と、きくみさん。ご本人からすると普通のことでも、どこかに秘訣があるのでは…と思ってしまふ元気な姿でした。

家族にきくみさんの畑仕事についてお聞きした



川井 きくみさん(古関)

ところ、「収穫してきた野菜をおいしくいただく。それだけです。」との答え。耕運や荷物運びなど大変な作業を手伝うくらいで、ほとんどきくみさんがひとりで畑の管理をしているのだそうです。きっと、家族がおいしく食べてくれることもやりがいにつながっているのではないのでしょうか。



亀治からのメッセージ

《秋の展示》 稲刈り・ひけし作業

秋の農作業で使われた昔の道具を展示中。
今年、「穂にお」を再現します。

時 間：午前9時00分～午後9時00分
入館料：無料



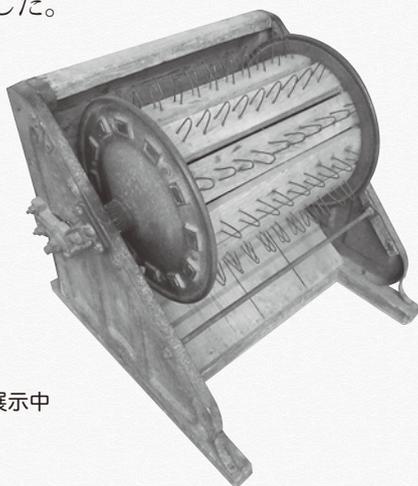
開催中

—10月12日(月)まで—

【道具図鑑】

● 足踏み脱穀機

乾燥させた稲穂から籾を落とす（脱穀）ための道具。無数の釘状のものをつけたドラムを足でペダルを踏んで勢いよくまわし、そこに稲穂をあてて籾を落とす。大正時代から普及した。



現在展示中

● 穂にお

「穂にお」は、田んぼに差し立てた一本の杭に刈った稲を重ねて干すもので、「稲にお」ともいう。昔は、刈った稲を天日で干すため、稲架と呼ばれる台を作ってかけたが、風の強い庄内では、「穂にお」をつくって干した。



亀治の目

手紙の書き出しに使う時候のあいさつ文、最近では文面と実際の季節が合っていないと感じることが多い。6月の「梅雨の候」、7月になっても梅雨が明けない。8月の「残

暑の候」、9月になっても30度を超える暑さが続く。

農業を中心としてきた日本の年中行事は農事暦が基本となっており、旧暦で考えるとつじつまが合うそう。旧暦による日付は、現在の

暦よりも1ヶ月程度遅れるので、それを考えると時候のあいさつもまんざら嘘ではない。

ただ今年は、あいさつの文面のとおり秋が来たようだ。長い冬になるのだろうか？

第四幼稚園

よつぱっこ通信

せんせい、あのね!

やさしいね!!

…年中児の泣き声が聞こえてくる…

〈年長児の会話〉

〇〇ちゃん「どうして泣いているのかな?」

□□く ん「ちょっと、さぐってくるね」

□□く ん「あのね、

ママに会いたくなっただって」

〇〇ちゃん「そうなんだ。

小さい時は、そういうこともあるよね。じゃあ、大きい組の誰かがやさしくしてあげればいいんじゃない?」

□□く ん「そうだね! そうしよう」

先生(年長さんは、体も心も大きくなってきたんだな♥)

「あいか割りしたよ」

8月誕生会のお楽しみコーナー。

夏ならではの体験ということで、すいか割りに挑戦しました。目隠しをして、ぐるぐる回ってスタート。「こっちだよ」

「そっちじゃない!」「もっと右!」手拍子にも導かれながらスイカを目指して恐る恐る進んでいきます。

年中さんは、目隠しを怖がる子や、1歩進んでは目隠しの隙間から覗こうとする子もいて、なかなかスイカには当たらず苦戦していました。年長さんは、去年の経験もあり、慎重に周りの声を聞き分けて進み、思いっきり棒を振り上げ、命中する子が続々。外れた時は「あ～あ、残念」と悔しがったり、「やったー、当たった!」「〇〇ちゃんすごい!」とみんなで喜びながら楽しみました。

そのあとみんなで分けて食べたスイカは、格別おいしくて、ニコニコでした。



わんつ!

第四小学校

こうなあってほしちゃ 和合の里

— 6年生のみんなが願う『和合の里』の未来像 —



五十嵐 美歩

わたしは、自然が豊かで、元気なあいさつの声がひびく、明るい地域になってほしいです。



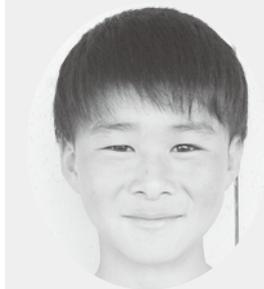
工藤 宏幸

ぼくは、元気であいさつが毎日ひびく和合の里であってほしいです。



加藤 亜実夏

私は、あいさつがひびいてみんなが笑顔になれる、みんなが笑い合えるようなそんな地域になってほしいと思います。



阿毛 尊琉

ぼくは、何年たっても、米づくりがさかんで、自然豊かな和合の里になってもらいたいです。



中村 望乃香

皆、元気いっぱい笑顔でいじめもなく、安全なくらしをつかっていけるようにしたいです。

健康ししぴ

しっとりお肉がおいしい!

しゃぶしゃぶサラダ

◎材料 (6人分)

- キャベツ・・・・・・・・1/3ケ
- 大根・・・・・・・・1/3本
- 人参・・・・・・・・中1本
- 玉ねぎ・・・・・・・・1ケ
- 豚ももスライス・・・・100g
- ゴマドレッシング・・・・150cc

◎作り方

- ①玉ねぎは、薄く切り塩少々かけておく。
他の野菜はせん切り。
- ②豚肉は、酒を少し入れた熱湯に入れ、
火を通し冷ます。
- ③水気を切った玉ねぎ、野菜、冷めた豚肉を
ゴマドレッシングで混ぜ合わせる。



ひとくちメモ 豚肉の栄養

豚肉は疲労回復や滋養強壮によく効くといわれています。豚肉にはビタミンB1という栄養分が豊富に含まれていて疲労回復に効果的です。そのビタミンB1は、なんと牛肉の約10倍も含まれています。脂っこくて、カロリーの高そうな豚肉ですが、実は低カロリーで、ダイエット向けの食材なのです。豚肉の脂身にはコレステロールを低下してくれる脂肪が多く含まれているのでコレステロールが気になる人におすすめです。

「栄養満点の豚肉に大注目!一豚肉ランド」より

和合交番

秋の交通安全県民運動



午後4時から8時に
事故多発!!

9月21日(月)～30日(水)

例年、日没が早まる秋以降は、夕暮れから夜間にかけての交通事故が多発する傾向があります。

また今年も、幹線道路での重大事故や高齢者が被害に遭う交通事故が多く発生しています。

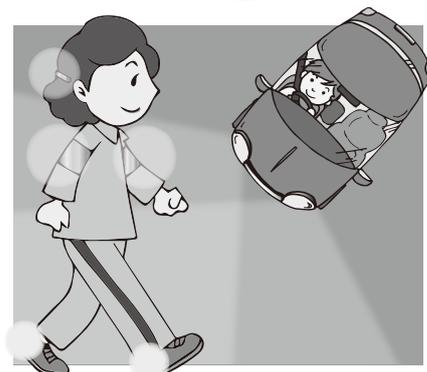
交通事故を「起こさない、遭わない」ため、次の点に気をつけましょう。

【交通事故防止対策】

- ドライバーは…夕方は早めにライトを点灯!
こまめな切り替えによりハイビーム(上目ライト)を使いましょう。
- 歩行者、自転車は…
夕方、夜間の外出は夜光反射材を使いましょう。

9月30日(水)は
交通事故死

ゼロを
目指す日です



地域インフォメーション!!

第11回庄内町児童生徒 工作・創意工夫展 四小児童の作品が多数入賞!

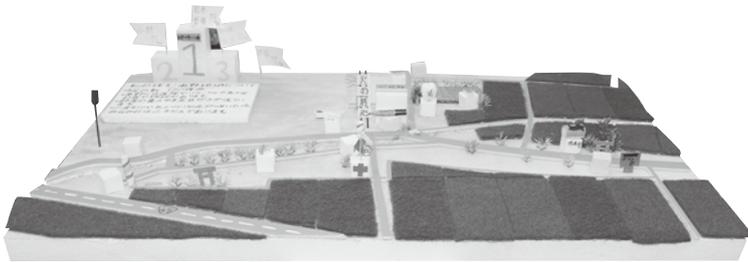
9月4日(金)～6日(日)に第11回庄内町児童生徒工作創意工夫展が第四公民館を会場に開催されました。

各学校から選出された「子どもらしい思いつきや工夫がある」「日常生活を豊かにするアイデア作品」「学習を発展させた玩具」などの作品203点は、どれも身近な材料・素材を使ったアイデアいっぱいの力作揃いで感心させられる作品ばかりでした。

その中から見事を入賞を果たした四小児童の作品を紹介します。

- 特選** 澁谷 心桜さん (5年/南野) 私の住む南野地域について
- 入選** 高橋 陽大くん (3年/前田野目) ストローロケット
- 阿部 有吾くん (4年/大真木) ビー玉の試練
- 佐藤 里音くん (4年/大真木) くうのメリーゴーランド
- 富樫 心春さん (5年/福島) おばあちゃんの薬箱

受賞、おめでとうございます!!



特選 「私の住む南野地域について」澁谷心桜さんの作品
“自分の地域をもっとよく知りたい”という思いが伝わってくる作品です。

編集後記

9月は防災月間だ。防災避難訓練は、より具体的な設定で住民相互の緊密な連携のもと実施されている。

「訓練、訓練。大きな地震が発生します。自分の身を守る行動をとってください。」公民館少年教室での訓練。子ども達は、頭をかばいながら直ちに机の下などに避難した。自分のために、また、助けたい身近な人のために、守るべきものを守るために繰り返し訓練しておくことが“いざ”というときの大切な備えになる。ほかの地域で起きている自然災害も決して他人事と思わず、「もしも、ここで起きたら…」という思いで備えていきたい。

「花のまちコンクール」入賞おめでとう

※**拠点団体部門**
前田野目自治会
見事、第1位受賞



自治会・老人会・子ども会の三組織主体で管理された花壇は、色鮮やかに咲いている花に勢いがあって、そこを通る者の目を引きつけます。「花の組み合わせがすばらしく、成育状況・除草・花殻摘みなど維持管理も高く評価できる」「応募の意気込みと地域づくりの盛り上がりを感じた」との評価で見事1位に輝きました。



グラウンドゴルフ場「ひだまり」の東側、県道沿いに位置する※拠点団体…町で指定している花壇を管理している団体

一般団体部門
余目第四公民館
第2位



ジュニカレ、がんばりました!

5月にジュニカレ和合塾の塾生の作った花壇が、花のまちコンクールで「花が元気で、ボリューム感もあり良かった。花がよく揃っている。」との評価をいただき、昨年度に続き第2位を受賞しました。

